

生体機能分子を介した癌制御の基礎的研究

所属機関 順天堂大学医学部
研究者名 小川 秀興

2001（平成 13）年度以前の助成研究者については、研究報告書全文に関する公開の許諾について明確になっていなかったため、助成研究者の皆様に対し、大学等への配布及び当財団ウェブサイトでの公開について許諾をお願い致しましたが、許諾が得られなかったため、当財団が助成対象とした研究の目的（または一部概要）のみ下記に記載し、研究報告書については非公開とさせていただきます。

（研究の概要）

腫瘍細胞は種々の生理活性分子を産生し、その働きにより増殖、浸潤、転移の過程を経て生体を破壊する。この過程を防止し腫瘍細胞を生体内から排除するためには、増殖と組織破壊に関与した分子の機能を効率よく抑制し、腫瘍特異的免疫能を高める必要がある。

本研究は 5 つの異なるアプローチにより生体機能分子を介した癌制御の道を探求した。